



# 友達になろう

## BE A FRIEND

1994—95年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ビル・ハントレー ●第2560地区ガバナー 大島 精次
- 会長——高橋 一夫 ●副会長——石橋 育於
- 幹事——五十嵐晋三 ●副幹事——松谷 昊吉
- SAA——平原 信行 ●副SAA——清水 良一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

**出席者会員数**

会員 79名中 59名

**先々週出席率**

88.06% (前年同期 90.79%)

**ヴィジター**

三条南より 葦沢喜一郎さん、坂井範夫さん

三条北より 本間建雄美さん

燕より 岡田健一さん

**先週のメイクアップ**

2/23 燕へ 外山一郎さん

2/24 新潟東へ 渋谷健一さん

2/27 三条南へ 斎藤弘文さん、山田富義さん、松谷昊吉さん

2/28 三条北へ 松谷昊吉さん

**会長挨拶**

高橋(一)会長

こんにちは。一日一日春めいてきました。今朝のテレビのニュースを見ておりましたら、東京に粉雪が降ったようです。こちらが晴れて東京が雪。こんなことを繰り返しながら、

越後にも待ちに待った春がやってくるのでしょうか。

四、五日前のことですが、毎日の日課になっております朝の散歩をいたしておりましたら、六時くらいでしたら、一新橋のところへ来ましたら、欄干から川の中を覗き込んでおられる方がおいでになりました。私も何かと思って覗いてみたら、その方の説明では自然のサケの稚魚だというんですね。

その方の説が正しいとすれば、サケの稚魚の一軍が真っ黒になって、五十嵐川の上流に向かって右側の淀んだところにおりました。

そこにですね、一尺くらいのミゴイが五、六匹いるんですよ。その稚魚を食べているんです。サケたちはこれから海に出て三年後に帰ってくるわけですが、その間に、ほとんどが海で大きな魚の餌になるわけですが、海に出る前にもう、ああいう大きな魚の餌になっているんですね。そうして帰ってくるのは大変なことだなぁと感じておりました。

今月半ば頃には養殖した稚魚を放つそうですが、そういう時期なんだなぁと感じております。

御報告ですが、西宮の田辺さんという方から礼状が届いております。「今度の震災に際しましては、早速ポリタンクを送っていただきありがとうございます。当、住宅約30戸で水汲みに重宝しております」という文面です。

これは丸惣さんのトラックに、金沢さんから1,000個でしたかポリタンクを寄付していただいて積んで行ったんですが、そのポリタンクに金沢さんが、「三条ロータリークラブ」というシールを作りましてね、貼っていったんです。その「三条ロータリークラブ」というシールを貼ったポリタンクが散まかれまして、その宣伝の効果がこの礼状というわけです。

先週副会長の方からお話がありましたが、今回の震災への義援金ですが、ご承知のように、私どもは第一陣といたしまして50万円をお送りいたしましたのですが、今回の災害の大きさをかんがみまして、ロータリークラブの方からも再度義援金を出して欲しいという要請がありまして、理事会で協議いたしました結果、お一人金10,000円を再度お願いいたし、クラブの方から20万円ほど加えまして、金100万円を第二陣義援金としてお送りすることにいたしました。よろしくお願い致します。

**幹事報告** 五十嵐(晋)幹事

◎三条クリーン協議会より

平成7年度三条クリーン協議会より定時総会開催のご案内がとどいております。

と き 3月8日(水) PM7:00~

ところ 越前屋ホテル

◎三条市高等職業訓練校より 修了式挙行についてのご案内がとどいております。

と き 3月16日(木) PM6:30~

と き 三条市高等職業訓練校

◎中条胎内RCより 認証状伝達式のご案内がとどいております。

と き 4月23日(日) AM11:00~

ところ イリノイ友好会館

登録料 15,000円

ニコニコBOX ¥25,100 3月1日分

燕RC 岡田健一さん

野村先生より御指導受けております。次期分区代理との事です。

高橋(一)さん 日一日と春らしくなってきました。上木さんお元気でようこそ。

小林(英)さん 今日からやよい3月、どうやら今年の冬も乗りこえされそうです。71歳になりました。71歳を記念して。

杉野さん 市民球場の完成をお祝い申し上げます。

上木さん 事故にあい暫く休みました。三之町病院へ入院して山木先生に大変お世話になりました。クラブから会長、幹事さんがわざわざお見舞に来て頂き有難うございました。

荻根沢さん 本日は宜しくお願い致します。迷惑料の支払いです。

松谷さん 荻根沢さん、卓話御苦勞様です。

小林(正)さん 都合により早退させていただきます。

佐藤(吉)さん すみません、早退させていただきます。

佐藤(武)さん 先週テープレコーダーの故障により、卓話の原稿が遅れ来週になりますことを謝罪致します。

ロータリー財団BOX ¥5,000

丸山さん 長男が中学生になります。

渡辺(喜)さん 娘が無事、希望大学法学部に合格出来ました。

**卓話** 荻根沢隆雄会員

今大きな社会問題となっておりますいじめについて……

昨年がありました、大河内清輝君のいじめを苦しめての自殺の記事を読んで大変に残念な気持ちで一杯になったのは皆様も同じかと思えます。

私は、記事を読み終えてやはり残念な気持ちと気の毒なと感じながら、はてうちの次男

坊は大丈夫かな……と思いました。折りも折、昨年の9月に僅かですが一時的に登校拒否があったものですから、他人事とは思えませんでした。

いじめについては、様々な角度から見なければいけません。わたしは一番の原因は大人社会が子供社会をいじくり廻していると思えてなりません。

戦後復興での高度成長、戦後50年よその国から見れば羨ましがられる程に復興なった日本、経済大国日本、無い物は無いといわれる迄の日本。

しかし、一番大事な事が経済の成長の速度に追いついて行けなかったものが有ります。人が人としての成長が伸びずに、むしろ低下しているのではと思う。隣近所での親密度の低さ、私利私欲ばかり求めている現代人、犯罪の増大など……。大人社会があまりにも経済に傾注した為に、子供の為の子ども社会でなくて、大人の為の子供社会になった様に思える。

一般家庭においても金銭感覚が麻痺している様です。遊び金、いわゆる交際費等も含めてとにかくお金を欲す子供達、そんな子供達が可哀想に思える時もある、大人社会の犠牲者として……。

一部の企業で人手不足だからといって就学生アルバイトを雇用している。アルバイトの雇用がいけないとは言わないが、少なくとも学校の休みの時期なら分かるが、そうで無い時期に、夜昼となく中学生だか高校生だか知らないがアルバイトで出入りしている事業者が沢山ある。

アルバイトをしている子供達に尋ねたことがある。何十人、何百人に聞いた訳ではないが、ほとんどが遊び金欲しさと答える。

一緒に働いているその社員にも、あの子達は何を目的としてアルバイトをしているのかと聞くとやはり『うん、みんな遊び銭稼ぎさ、何くれ〜使うんだろっかね〜』皆がみんな遊び金欲しさとは言わないが、少なくとも昔みたいに家計の助けなんてあり得ないし、旅行の助けにするとか、あるいはバイクの購入資金にするとか何かの目標を持って、というのは少ない様である。

カラオケボックス、ファミコン、各種アミューズメントパーク、横文字にすれば何やら格好がいいみたいだが、なんてことはない、歓楽あるいは娯楽施設のことである。子供達が自身で金の掛かる遊び社会を造る訳はないし、これは矢張り大人社会がどうかしているのかな〜と感じます。

人件費高騰の折、経費節約の為などと言ってアルバイトに依存している事業所についてはいささか経営者の資質を疑いたい。まして当社では人件費を抑えていますから安く提供



できます等と言ったら問題外であり、第一その社員が可哀想である。

アルバイト学生を雇う時は、雇用する側もよく認識をしてその子らの為になるのか考えて欲しいものである。

学校の長期休みにおいての学生の社会勉強の場の提供という点では、ある種のボランティアでもあるのでこれについては大賛成であり、この時に逆に大人から子供達に対して礼儀、あるいは作法を植え付けるには絶好のチャンスとも言える。昨今、親や先生の言うことには素直に聞かないが、職場においての子供達は意外と素直、と聞く。社会人として就職するとこれがまた違ふみたいだが……。

何れにしても、大人社会が経済に傾注しているうちは、子供社会はゆがむばかりであろうと思う。

企業や、官公庁が人間性ではなく学歴重視、いわゆる学歴偏重の社会を造っているうちは、世のお母さん達は子供を幼いうちからエリートコースに乗せようと頑張っている。子供が子供らしく生き、人間性創造の一番大事な時期に型にはめようとするのである。

経済大国日本といわれても実感が湧かない。欧米先進国に比べれば収入のわりには生活レベルの低さが目につくばかりである。お母さん達は子供には良い学校を出て、大手企業あるいは役所に入っていれば万々歳と言ったところでしょうか。

国や、地方自治体はもっともっと子供達の健全育成の場を充実し、そこにはゲームコーナーがあっても良い、カラオケボックスがあっても良い、要は金の掛からない遊び場を提供しながら、且つ育成をできないものかと思うし、政治家も含めてその筋の識者は沢山いるはずですので……。ついでに大人の再教育も、経済も含めた大人社会が変われば子供社会も変わります。

21世紀に向けての社会は、企業作りではなく人造りに傾注して欲しいと感じております。日の丸掲揚云々なんていっている時代じゃないんです。どこの国に自国の国旗の掲揚云々する国民がどこにいますか。そんな方は国籍をなくしてからやりなさいと思っております。

今回の阪神大震災の被災者の方々に対しては、大変にお気の毒と感じております。マスコミを通じて、被災者あるいは関係各位の皆様の報道を見聞きするにつけて、被災地の人たちは人が人としてのあるべき姿をかいま見る事ができます。団結心、連帯感、互助の精神など忘己利他の姿がありました。

一部には、非人道的な行動を取っている方もいるとの報道もありますが、恐らく大多数の方々はお互いを支え合い、励まし合って復興に全力を注いでいる事と思います。

別に政治家や役人の悪口を言うつもりはありませんが、震災復興委員会とかいうものの、何で被災地のど真ん中に持って来ないのか、なんて思っています。被災地の方々と同じ気持ちになって、細やかな対策をタイムリーにやっていただけたらな〜と思います。

何れにしても、この阪神地方が日本人が忘れていたものが蘇り、真の人、中心の経済の

地として、速くに復興して頂きたいと感じております。

余計なことかも知れませんが、被災地の子供達、別な意味で人生の中において素晴らしい体験をされたのではと思います。避難生活においての人と人の触れ合い、近所の方々或は家族との触れ合いを感ずることによって本来、人とは人間とはというある種の本質とかいうものを感じているに違いないし、この子供達が大人に成長するにつけて素晴らしい人間になるだろうな～と感じておりますし、この地域は今において、大人達が子供達の良きお手本になる時はないだろうなとも思いました。

#### ◆非行……

2年前、子供がお世話になっていた高校のPTAの役職をお手伝いをさせて頂きました。その中で年に2回程、青少年の健全育成として協議会がありまして、教育委員会・所轄の警察署の青少年補導課・学校の生徒指導の先生・PTAで実態報告、あるいは白書として発表。それにディスカッション。

当然のことながら、喫煙・飲酒・窃盗・万引き・登校拒否・バイク事故・不純異性交遊などがあります。

私は、この中で喫煙と飲酒について大変に疑問に思いました。酒は18歳以上、たばこは20歳以上と大人社会は決めておきながら、自動販売機等で子供達が簡単に入手できる環境を作っている。大変に矛盾していると思いませんか。

技術立国・ハイテクの国、日本が国民に対して国が身分証明書を発行していない。私の云っている証明書はパスポートや免許証などではなく、18歳或は20歳になったら国民証明書なるものを持たせる。出来ればカードとして。そのカードが無ければ自動販売機から買い物が出来ない様にするとか、カードの提示がなければ店は売らないとかすれば少年の喫煙或は飲酒はかなり減るだろうと思います。当然カードでの買い物ですから、お金は後で引き落とすシステムにすれば販売機の中には現金が無いので販売機からお金が盗まれることも無いし、犯罪防止にも役立つ。むろん問題も多いと思いますが。

要は、国民は法律を守る義務があるといっているが、法律を守りやすくする努力を政府は何もしていない。つまらん規制を作ればかりいる。政治家は直に票に結びつかない事には目をつむる。

精神文化面では、一向に国民の生活にゆとりが無い。経済も含めて。

受け売りになりますが、大変に共鳴致すところが有りましたので、紹介させて頂きます。

#### ◆55対100

平成4年度、通産省の工業統計調査によりますと、大企業を100とした場合の中小企業の水準、いわゆる格差指数ですが、労働生産性51.4、資本装備率57.4、賃金格差65.0だそうです。

退職金を含めて生涯賃金で見ますと、大企業を100としますと中小企業は55になってい

るそうです。

具体的に数字をあげますと、大企業の生涯賃金3億1千万円～2千万円とも言われています。中小企業(100人以上)にあっては、1億6千万円～7千万円となるそうです。100人以下、あるいは地方の企業にあっては、当然これ以下と推察出来ますし、それが現実です。

ある自動車メーカー、この円高の中で15%のコストダウン出来るはずですが、皆下請けである中小零細業者にムチを打ったり、はっぱを掛ければいいのですから。いつもコストダウンを強いられて血のにじむ様な努力をしても、結局は親企業に吸い上げられてしまう訳ですから、中小の経営者は給料を沢山やりたくても払えない訳です。決して払いたくないのではないのです。

人材不足の昨今、財源があるのにそれなりに支払わなかったら社員はやめて行きます。社員も知っているから、黙って我慢している企業が多いはずですが。

ひどい話で天下り官僚が7年間の間に3億円という大金を退職金、給料として貰っていたそうです。この話を聞いて日本はいい国だな～なんて思う方がいるかも知れませんが、殆どは憤慨するでしょう。

格差をなくす為に大企業の賃金を減らすのではなく、中小企業の賃金を上げるべく対策を政策として頂かないとうまくないのではと思います。

円高と貿易黒字の増大、輸出は駄目だからと内需拡大策云々。しかし国内では買うものがない、売れるものがない等という方は収入の多い方であり、生活するに何の支障もない方、あるいはあんまり当たらない経済学者の言う事であります。

大企業の従事者数1,139万人、官公庁470万人、中小企業にあっては4,340万人。中小企業に対しての法人税を半分にすれば、4,340万人の収入を上げてやることができ、当然消費にも結びつくはずですが、とっている識者もいます。

要は、個人所得については0～50%累進課税、法人については大企業と中小企業の税率は若干の差はあるが、5,000億円の所得企業と5,000万円の所得企業の税率が同じという事に対してはよく知られていないみたいだ。仮に知っていて不公平に感じていないということは、よほどの所得のある企業か、あるいは何かあるわね～と来る。

年間に100億以上の利益を出す企業が450社、その合計が18兆円くらいになるそうです。大企業がプラス5%の税負担をして頂けるなら、中小企業の税率は今の半分になるのではと識者が唱えています。

確かにそうなれば企業収益も上がりますので、社員にも給料なりボーナスなりの形で還元できると思いますし、それによって少しでも賃金格差がつかれば中小企業にも優秀な人材が廻ってくるチャンスもあるかも知れません。

何れにしても、政府の中小企業に対する政策は、力のない所は止めなさいと言わんばか

りであるが、力の無いところは消えて行く。そんな事は百も承知である。しかし、政府の無策ともいえる政策で寿命を詰められるということになればとんでもない話だ。

エコノミックアニマル。諸外国から日本人は働き過ぎだといわれて、それを非難と受け止めて労働時間の短縮の推進、円高と空洞化に対しての無策さに対して、本当に無錫しゃ旅情の思いであります。

中小の輸出企業の血の出る様な努力もまったく追いつかない状況である。大手は苦しくなれば下請けにぶつけてくる。最近は一ストラと称して。全く便利な言葉が出来たもんだ。生産時間の短縮化、或は短納期化、コンピュータの普及・物流の高速化とスピード時代である。何でもかんでも時間を詰めてくる。世知辛いし・ゆとりが無い。何れ何処かで歪みが出ると思う。いわゆるストレスクラックが出ますよ～。

しかし不可思議な事が一つある。それは手形決済期間がその割りに詰まらない。

---

三条RC	3月8日例会	第2560地区 職業奉仕委員長	島田政之助殿
------	--------	-----------------	--------

---

	3月15日例会	卓話	鈴木宗資会員
--	---------	----	--------

---

	3月22日例会	春の遠征夕食会	於 見附市 小林屋
--	---------	---------	-----------

---

三条南RC	3月13日例会	卓話	白倉修三会員
-------	---------	----	--------

---

	3月20日例会	卓話	金子晴俊会員
--	---------	----	--------

---

	3月27日例会	卓話	田辺吉洋会員
--	---------	----	--------

---

三条北RC	3月14日例会	卓話	斎藤会員、山口会員
-------	---------	----	-----------

---

	3月21日例会	休会	(春分の日)
--	---------	----	--------

---

	3月28日例会	鮭稚魚放流例会	
--	---------	---------	--

---